

作業計画と実績

2018年3月21日現在

月日	曜日	予定 (3/7週間予定表より)	実績
3月5日	月		
3月6日	火	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
3月7日	水	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
3月8日	木	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
3月9日	金		
3月10日	土		
3月11日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2018年3月21日現在

月日	曜日	予定 (3/7週間予定表より)	実績
3月12日	月	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
3月13日	火		
3月14日	水		
3月15日	木	・Mouse Stress Defense実験準備	Two-Phase Flow 実験
3月16日	金	・Mouse Stress Defense実験準備	・Mouse Stress Defense実験準備
3月17日	土		
3月18日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
 - Mouse stress Defense: 宇宙ストレスにおける環境応答型転写因子の役割
(代表研究者: 山本雅之 東北大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
 - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置